

令和5年度 統一地方選挙に関するアンケート調査 結果報告書



大阪市選挙管理委員会
マスコットキャラクター
「センキョン」

大阪市委員会事務局選挙部選挙課

調査の概要



(1)調査の目的

本調査は令和5年4月9日に執行された統一地方選挙を中心に大阪市内の若年層有権者の投票行動等に関する状況を把握するためにアンケートを実施し、今後の業務に役立てることを目的とする。

(2)調査の実施状況

- ①対象 大阪市内に居住している18～29歳までの日本国籍を有する5,000人
- ②方法 圧着はがきを発送し、オンラインで回答を回収
アンケートは選択肢をランダム形式で提示して実施
- ③期間 令和5年4月26日(水) アンケート案内はがき発送
令和5年5月17日(水) 督促はがき発送
令和5年5月31日(水) アンケート回答期限
- ④回収状況
 - 1 有効発送数 4,959名(発送数 5,000名に対し、未配達数 41名)
 - 2 回答者数 860名(督促発送前で516名、発送後344名)
 - 3 回答率 17.2%

◆年代別の回答数・率

	発送数			回答数・率				
	男性	女性	計	男性	女性	答えたくない	計	回答率
18歳	128	151	279	20	26	1	47	16.85
19歳	127	152	279	28	15	2	45	16.13
20～24歳	1,004	948	1,952	118	136	11	265	13.58
25～29歳	1,267	1,223	2,490	211	280	12	503	20.20
総合計	2,526	2,474	5,000	377	457	26	860	17.20

(注)数値は回答者数を100とした%

(3)本報告書の見方

- ・調査結果は、「大阪市内に居住する若年層全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。
- ・各回答の数値は、回答者数(人)を100とした割合で表している。

◆【参考】

これまでの大阪市長選挙における年齢別投票率推移(計)
～平成27年・平成31年・令和5年執行分～

(注)本市全有権者を対象として集計。



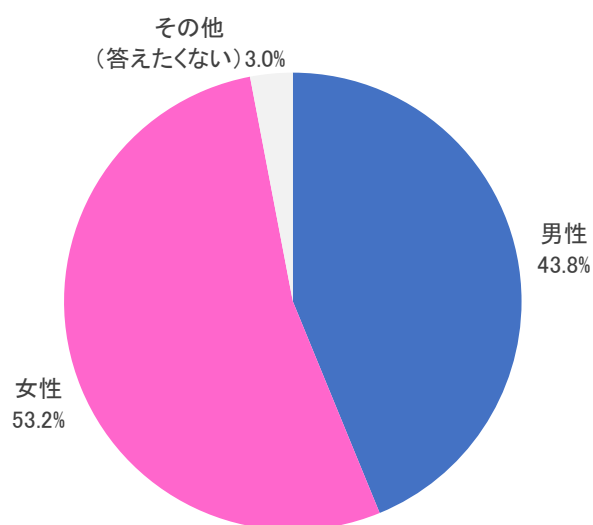
※H28年から選挙権年齢が18歳に引き下げられたため、H27年の「18～19」は集計なし。

(%)

1. 回答者の性別・年齢

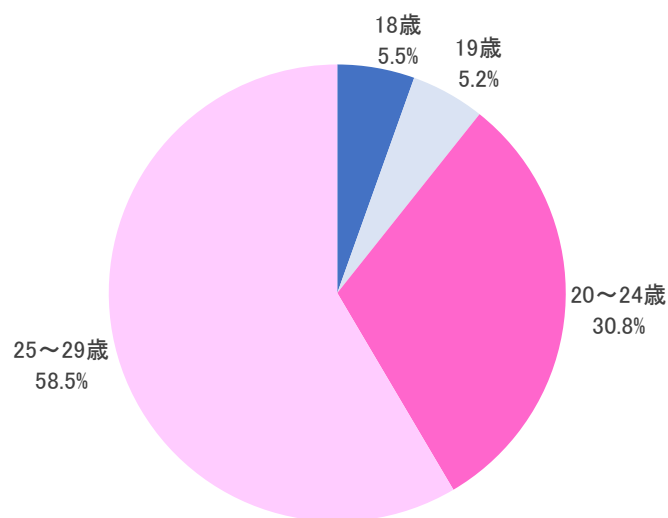
(問2 あなたの性別をお答えください)

(問3 あなたの年齢をお答えください。)



	回答者	%
全体	860人	100.0
男性	377人	43.8
女性	457人	53.2
その他(答えたくない)	26人	3.0

(注)数値は回答者数を100とした%



	回答者	%
全体	860人	100.0
18歳	47人	5.5
19歳	45人	5.2
20～24歳	265人	30.8
25～29歳	503人	58.5

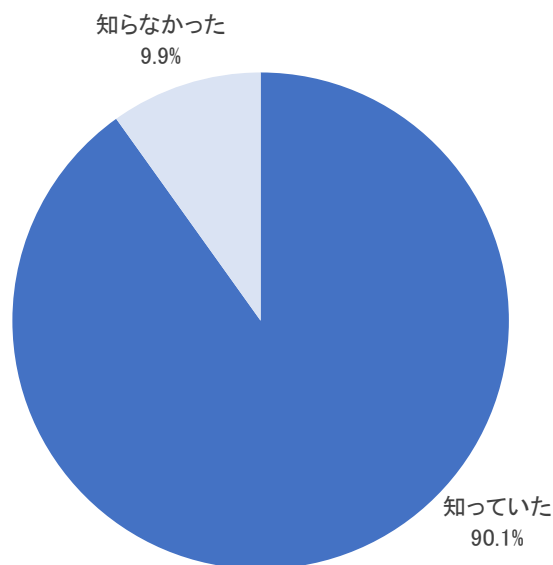
(注)数値は回答者数を100とした%

		回答者	男性	女性	(答えたくない)その他
全体		860人	43.8	53.2	3.0
年齢別	18歳	47人	42.6	55.3	2.1
	19歳	45人	62.2	33.3	4.5
	20～24歳	265人	44.5	51.3	4.2
	25～29歳	503人	41.9	55.7	2.4

(注)数値は回答者数を100とした%

2. 統一地方選挙の期日の認知度

（問4 あなたは、4月9日に統一地方選挙が行われたことを知っていましたか？）



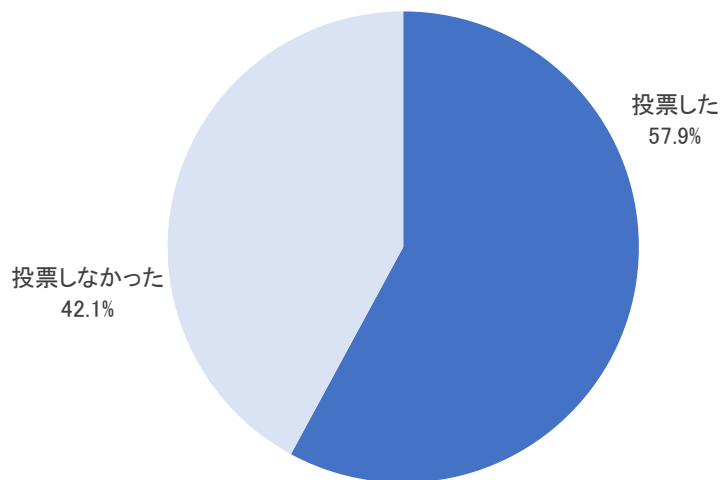
			知 っ て い た	知 ら な か っ た
全体		860人	90.1	9.9
性別	男性	377人	91.5	8.5
	女性	457人	89.3	10.7
	その他 (答えたくない)	26人	84.6	15.4
年齢別	18歳	47人	93.6	6.4
	19歳	45人	91.1	8.9
	20～24歳	265人	86.0	14.0
	25～29歳	503人	91.8	8.2

（注）数値は回答者数を100とした%

- ・4月9日に統一地方選挙が行われたことを知っていたかをお聞きしたところ、「知っていた」が90.1%となっており、回答者の9割が今回の選挙について認知していた。
- ・年齢における比較では、「知っていた」割合が最も大きかったのは18歳（93.6%）であった。一方、「知らなかった」割合が最も大きかったのは20～24歳（14.0%）であった。

3. 統一地方選挙の投票状況

(問5 あなたは、4月9日に行われた統一地方選挙は、投票されましたか？)



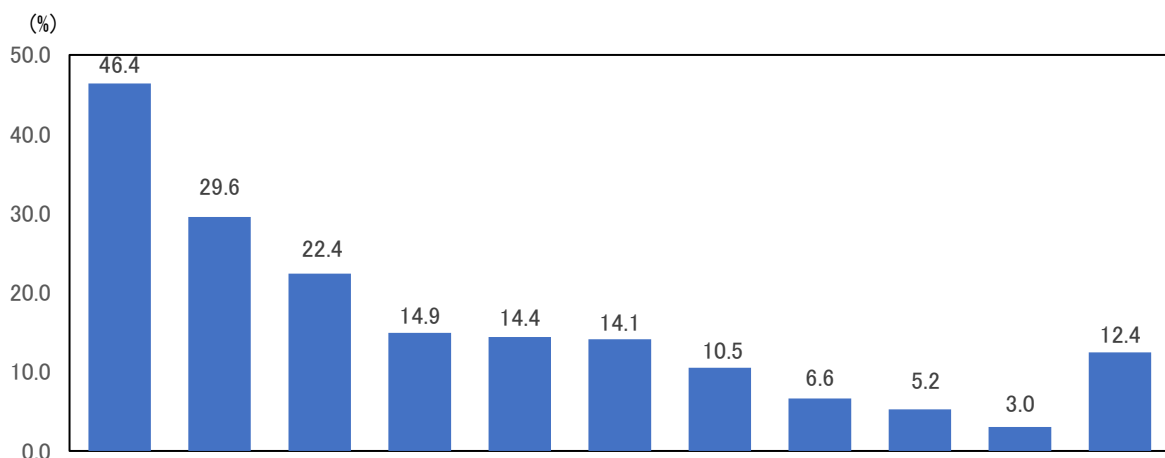
		回答者	投票した	投票しなかった
全体		860人	57.9	42.1
性別	男性	377人	60.2	39.8
	女性	457人	56.2	43.8
	その他 (答えたくない)	26人	53.8	46.2
年齢別	18歳	47人	66.0	34.0
	19歳	45人	62.2	37.8
	20～24歳	265人	50.6	49.4
	25～29歳	503人	60.6	39.4

(注)数値は回答者数を100とした%

- ・4月9日に統一地方選挙で投票したかをお聞きしたところ、「投票した」が57.9%となっており、回答者の過半数が投票に参加していた。
- ・「投票した」割合が最も多かったのは、18歳(66.0%)である。
- ・20～24歳では、他の年齢と比較して「投票した」割合が低く、50.6%である。

4. 投票に行かなかった理由

(問6 統一地方選挙に投票されなかったのは、なぜですか。(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。))



		回答者	優先すべき仕事や用事があったから (忙しかったから)	候補者の政策や人物などがよくわからず、投票したい人がいなかったから	投票に行くのが面倒だったから	選挙が4月9日に行われていることを知らなかったから	一人ぐらい投票してもしなくても、結果は同じだから	選挙(今回の統一地方選挙も含む)には関心がないから	選挙によつては、政治がよくなると思うから	投票所が遠かったから	周りで行っている人がいなかったから	病気だったから	その他
全体		362人	46.4	29.6	22.4	14.9	14.4	14.1	10.5	6.6	5.2	3.0	12.4
性別	男性	150人	44.7	23.3	27.3	14.0	16.0	16.7	12.7	7.3	4.0	2.7	13.3
	女性	200人	48.0	34.0	18.0	16.0	13.0	12.0	9.5	6.0	6.0	3.5	12.5
	その他 (答えたくない)	12人	41.7	33.3	33.3	8.3	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
年齢別	18歳	16人	31.3	50.0	31.3	18.8	18.8	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3	18.8
	19歳	17人	47.1	29.4	29.4	17.6	17.6	23.5	17.6	5.9	0.0	0.0	11.8
	20～24歳	131人	42.7	30.5	20.6	22.1	13.0	9.2	10.7	9.9	8.4	2.3	13.0
	25～29歳	198人	50.0	27.3	22.2	9.6	14.6	15.7	9.6	4.5	3.5	3.5	11.6

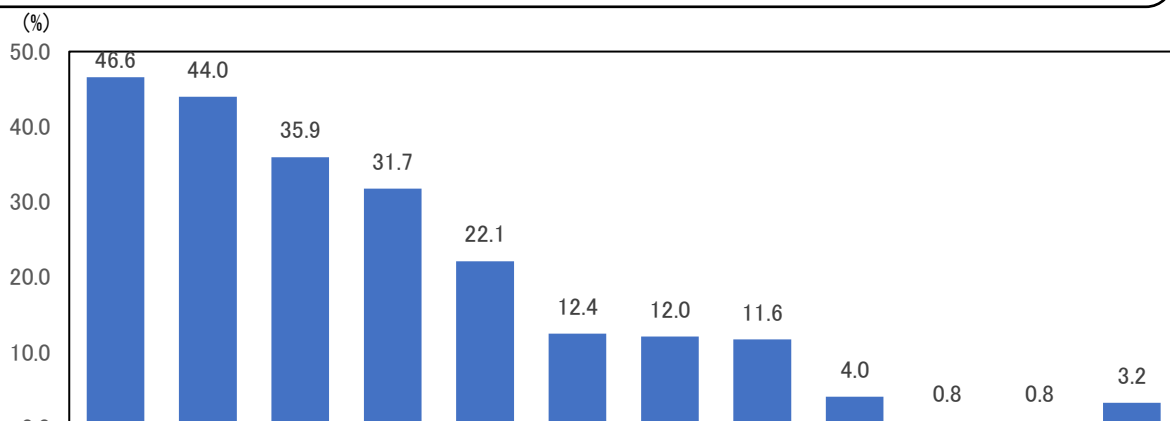
その他回答:「まだ選挙権が無かった(転入)」、「出産のため入院していたから」、「投票場所が分からなかった」、「海外にいた」、「どの政党も他政党を批判する内容ばかりで、代替案もなく、どこにも入れなかったから」

(注)数値は回答者数を100とした%

- ・統一地方選挙に投票しなかった理由をお聞きしたところ、「優先すべき仕事や用事があったから(忙しかったから)」が46.4%と最も高くなった。次いで、「候補者の政策や人物などがよくわからず、投票したい人がいなかったから」が29.6%となっている。
- ・25～29歳においては「優先すべき仕事や用事があったから(忙しかったから)」の割合が最も高い。
- ・18歳においては「候補者の政策や人物などがよくわからず、投票したい人がいなかったから」の割合が最も高い。

5. 投票に行き始めたきっかけ

(問7 今回の統一地方選挙に限らず、投票に行き始めたきっかけを教えてください。(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。))



回答者		投票するのは義務だと考えているから	政治や社会を良くするには投票することが大切だから	家族や周りの人が行っていた、又は行くことを勧められたから	若い世代の投票率が低いと知り、若いうちに投票したいと思うから	今の政治は良くないので、改めたいと思うから	頑張っている政党・候補者があるから	なんとなく	参加することの大切さを感じたから	結婚や子育て等私生活において変化があり、政治や社会へ参加することの大切さを感じたから	政策等が共感でき、当選してほしい候補者がいたから	投票に行ったら、特典が受けられたから	会社や知り合いなどから頼まれたから	その他
全体		498人	46.6	44.0	35.9	31.7	22.1	12.4	12.0	11.6	4.0	0.8	0.8	3.2
性別	男性	227人	44.9	50.7	30.0	32.6	23.8	15.4	13.7	11.5	2.6	1.3	0.4	3.5
	女性	257人	47.9	38.1	42.4	31.5	19.5	9.7	10.5	12.5	5.4	0.4	0.8	2.3
	その他(答えたくない)	14人	50.0	42.9	14.3	21.4	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3
年齢別	18歳	31人	48.4	29.0	58.1	38.7	16.1	6.5	9.7	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2
	19歳	28人	46.4	35.7	50.0	25.0	10.7	3.6	14.3	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	134人	44.8	36.6	47.8	26.1	20.9	11.2	12.7	3.7	3.7	0.7	0.0	1.5
	25～29歳	305人	47.2	49.5	27.2	34.1	24.3	14.4	11.8	17.4	4.6	0.7	1.3	4.3

その他回答:「行かないと文句を言う資格もないと思った為」、「嫌いな候補者が落選するように、対抗する候補者に投票するため」、「投票する権利があるから」、「開票結果に自分の一票が反映されていることに感慨に浸るため」、「政治に興味があるから」

(注)数値は回答者数を100とした%

- ・投票に行き始めたきっかけをお聞きしたところ、「投票するのは義務だと考えているから」が46.6%と最も高くなった。次いで、「政治や社会を良くするには投票することが大切だから」が44.0%となっている。
- ・「政治や社会を良くするには投票することが大切だから」の回答について、年齢別に確認すると年を重ねるごとに増加傾向にある。
- ・25～29歳において、「投票するのは義務だと考えているから」「政治や社会を良くするには投票することが大切だから」の割合が高いことから、投票することは義務であり、重要なものであるとの認識が高いことがわかる。また、「結婚や子育て等私生活において変化があり、政治や社会へ参加することの大切さを感じたから」の割合が他の年代に比べて高いことから、ライフステージとの関連性がみられる。
- ・18歳、19歳においては「家族や周りの人が行っていた、又は行くことを勧められたから」の割合が最も高いことから、家族等の影響によるところが大きい。

6. 若年層が投票に行くための効果的な方法

(問8 若年層の投票率が向上するには、小さいころからの教育、インターネット投票の整備、投票所の利便性の向上、魅力がある立候補者が出てくること等様々あると思います。あなたと同じ世代の方々は、どのような世の中や環境であれば投票に行くと思いますか?) <自由記述>

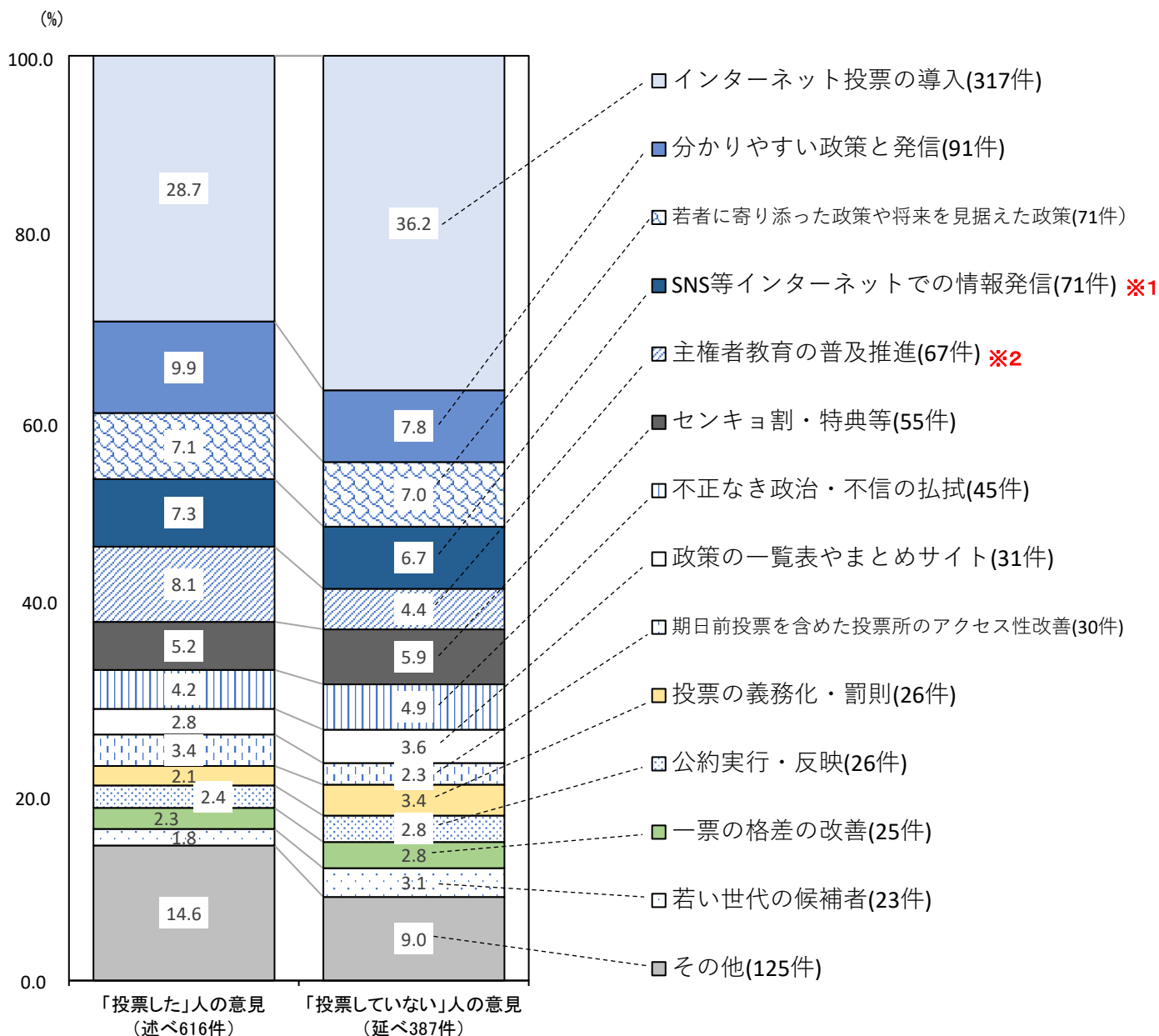
自由記述は、701名(81.5%)から回答があった。その主な内容は下記のとおりである。

最も多かった意見は、投票した人・投票しなかった人ともに「インターネット投票の導入」であった。

「わざわざ、投票所に出向くのが手間なため。ネット投票ができるとよい」や「スマートフォンやパソコンが普及しているのだから投票所に行くのではなくインターネットで投票できるように整備すれば良い」というような意見があがった。

次頁に具体的な内容の一部を抜粋して掲載している。

なお、複数の内容に関する回答もあるため、回答件数は1,003件となっている。



※1 SNS等インターネットでの情報発信(71件) <主体別内訳>

	候補者	選管	両方	不明	合計
投票した	25件	10件	6件	4件	45件
投票していない	8件	12件	1件	5件	26件
全体	33件	22件	7件	9件	71件

※2 主権者教育の普及推進(67件) <主体別内訳>

	学校	家庭	両方	他	不明	合計
投票した	15件	3件	1件	2件	29件	50件
投票していない	4件	1件	0件	2件	10件	17件
全体	19件	4件	1件	4件	39件	67件

インターネット投票の導入	
投票した	・マイナンバーカードが普及しているので、そのカードを利用してインターネット上で投票できるようにしたいと思っています。 どの政党がどのような政策を実現しようとしているかを分かりやすく漫画形式にしたら理解も進むのではないのでしょうか。若年層で新聞を読む人が少ないので、漫画だとまだ身近に感じやすいかもです。 自分に合った政党がどこなのかを、インターネットで質問に答えて自動的に導いてくれると助かります。(1つの指標にはなると思うので)
	・1番はインターネット投票が可能になることと感じます。場所と時間を選ばないというのが大きいです。若者は社会に希望を見いだせない人が多いと感じるので、投票に行くことで仕事やプライベートの時間を割きたくないのかなと思います。
	・わざわざ、投票所に向くのが手間なため。ネット投票ができるとよい。また、候補者達がどのような 政策や人物なのか、わかりやすく SNSなど通して紹介するのが良いと思う。
	・スマートフォンやパソコンがこれだけ普及しているのだから投票場に行くのではなくインターネットでの投票できるように整備すれば良いと考える。
	・このアンケートのようにスマホで投票できるようになったら簡単なので参加する人が増えると思う。高齢の方と関わることが仕事であるが、選挙に行けなくて投票できなかったと言っている方が多々おられた、選挙前投票にも足が不自由で行けない方がいるのでその方にも配慮してあげてほしい。その方たちの方が政治とかにも興味があると思うので。
	・政治活動のわかりやすさや応援したいと思える候補者がいれば投票に行くと思います。子供がいると投票所に行くだけで凄く準備に時間がかかるのでインターネット投票の整備は必要です。
	・インターネット投票が出来たら若年層の投票率が上がると思います。投票場所が家から遠かったりすると行く気も失せますし、空いた時間に手軽に投票できるようにして欲しいです。
	・スマホで投票できれば増えると思う。スマホにもマイナンバー 読取機能があるから本人確認もできると思う。
投票していない	・投票所まで行かなくても投票できるシステムを確立して欲しい。せっかくマイナンバーカードが整備されつつあるので、将来的には投票用紙を郵送することも無くなり、ネットからマイナンバーカードに紐付けて投票出来るようにすれば、期日前投票しなくても、どこからでも投票できるようになって、投票率も上がると思う。
	・現地に行き投票するのは仕事やプライベートの予定により厳しい。また、休みの日は選挙のために家から出たくない。家の中からできる選挙にすると良い。例えば、郵送式、インターネットが1番いいと思う
	・インターネット上でID、パスワードなどを入力して投票ができる。
	・電子投票の拡充 本アンケートのようにID及びパスワードの設定やマイナンバーとの紐付けで重複投票やなりすまし投票を防げるのではないかと思います ・年代層ごとに見やすい政策一覧 高齢者層、子育て世代、教育、税金などの分類が「子ども、若者(独身)、既婚、子育て世代、中年期、高齢者」どの年代に関係するのか分かりやすくしてもらえるとありがたい。
	・セキュリティ等の都合があって難しいかもしれないがオンライン投票に対応すれば飛躍的に投票率が上がると思う。それが難しくとも、各立候補者の政策が見やすくまとまってる特設サイトがひとつあるだけで投票する意欲が湧く。街頭演説を聞かないといまいち何がしたい人なのか分からないような状態で、投票に行く気がなくなる。
	・インターネット投票の整備があればわざわざ投票所まで行かなくて済むためインターネット投票が整備されれば若者の投票率は伸びると思う。
	・ネット投票ができるようになってほしい その日に大阪にいなかったり仕事や予定が入ってしまう。また、分かりやすい説明が一覧になったものをポスト投函(しているか分からないが広告に混じって廃棄してるかも)以外にもテレビ以外でも分かるようにしてほしい。選挙カーで名前だけ叫ばれてもうるさいとは思わない。
分かりやすい政策と発信	
投票した	・立候補している方には政策をもっとわかりやすく、かつ具体的に教えてほしい。あと、選挙のためにその場所に行かなくてもいいようにして欲しい。学校やバイト、部活など、学生も色々やることが多い。
	・自分たちにダイレクトに関わる内容をわかりやすく提示してもらえると政治参加意欲が高まり投票に行くと思う。
	・投票するにあたり、候補者を自分から調べにいかないと、どのような施策を掲げているのかが分からない。全てが終わってからメディアが当選者の施策を報じるというのが現状なので、投票が始まる2〜3週間前からメディアや色んな方法で目に触れるようになれば認知や投票が増えていきそうだと思う。
	・政治は自分から調べに行かないとわからないことが多いので、嫌でも考えさせられるくらい色々な場所で説明すれば良いと思う。
投票していない	・シンプルな説明、分かりやすい言葉、選挙の内容を見ても〇〇政策と名前があっても実際どんな政策なのか分からない。子育て支援。介護支援。いろいろな支援など、実際どんな利益？申請が複雑なら、いいかって思う。そういった政党の違い、政策の説明の動画を見たら得るものがあるような、マイナンバーカードにポイントがつく、小さい頃から、家族と選挙に行くとお菓子、アイス、何かシンプルなものでもいいので行って良い事と結びつくと思いたくなる。
	・若者にも分かりやすい政策を表明する。
	・若者でも分かりやすい・魅力に感じられるような説明をしてもらえると投票に行こうと思える。
	・立候補者が何をするのかを理解するのもっとわかりやすい場をもうけ、選挙内容を理解できたら投票に行くハードルが下がると思う。
	・選挙があることをもっと知らせて、わかりやすい政策であれば投票に繋がると思います。

若者に寄り添った政策や将来を見据えた政策	
投票した	・教育や投票しやすい環境作りはもちろん重要だが、まずは若者や子育て世帯の方を向いた政策を具体的に訴え実行してくれる候補者がいることがより大切だと思います。今の政策ではまだまだ高齢者の顔色を伺ってばかりで、本気で少子高齢化に歯止めをかけようとしているとは感じられない、これではわざわざ労力をかけて投票しようと思えない人が多いのも仕方ないと思います。(高齢者の票が大切なのはわかりますが)
	・若い世代が自分事と捉えられるような政策がしめされている。
	・自分達に恩恵がある政策を実行してくれる政党、政治家がいること。今のところは高齢者に向けた取り組みばかりで、若者に向けての取り組みをしているとは到底思えない。
	・自分の生活に利益をもたらす魅力的な政治家が居れば良いと思う。票を入れたいと思う候補者がいない。
	・若者に向けた対策を取り組まれてるかどうか。少子化に向けた取り組みはされているかどうか。
	・魅力的な政策を提示しており、それが実現できると感じられれば。
	・若者へ還元される政策があれば。
投票していない	・若者に有利な政策。
	・小さい子供ばかりに支援があり、高校生や大学生にも支援を考えてくれるなら投票に行く。インターネット投票ならしやすいかもしれない。
	・就職、結婚、出産、子育てとこの先待っている未来に希望が持てません。普通のサラリーマン家庭で、普通の収入で、普通に暮らしていけて、普通に子育てできる社会を目指してくれる政治家が出てきてくれることが投票率向上のために必要なことだと思います。

SNS等インターネットでの情報発信	
投票した	・当選したらどんな利益があるのか、分かりやすく伝える方法として現代の若者に合わせたTikTokやYouTubeなどの動画SNSを上手く活用して宣伝し、若者が情報を取り入れやすくなれば政治にも興味が湧くと思う。
	・テレビだけではなく、ネットでの選挙に関する情報を発信していくことや若者に影響力のある人に協力をあおぐなどして選挙が始まることなどを周知させるような環境があればいいと思う。
	・毎日のように利用しているSNS (Instagramや Twitter、LINEなど) で投票日をアピールしたり、YouTubeやTikTok等の広告で選挙に関することを発信したりすることで、若者はテレビや紙媒体で情報を得るより、身近に感じ、投票に行きやすくなると思います。世の中の出来事が他人事であると思ってしまう人が多いと思うので、身近な事に関連付けて選挙に行くとう生活に影響してくるのか、今の生活の何がかわるのかなどを若者の目に留まるところに提示することが選挙を促すのに良いと思います。
	・各政党がSNS (若者が使用する媒体、例えばInstagram) で小学生でもわかるくらい簡単な表現でどういう政策を講じてどんな社会を実現するかプロパガンダする・出前授業をする(つまり政治との接点を増やす)
	・候補者の公約などは自分から知りにはいかなければしっかりわからないため、もっとそれがインターネットなど自然と目や耳に入ってくるような環境であれば、興味を持つ人が増えて投票に行くのではないかなと思う。
	・選挙カーなどで公演をしても、仕事で日中しっかりと聞けなかったりしてしますので、選挙に行くのが億劫になる人も多い今の若い子は、SNSが普及してるので、そういうもので公演をしたり、投票も個人情報的に問題なければLINEなどを利用して投票したら、投票率は上がるのでは？
	・最近の若者はテレビや新聞を見ないので、どのような政治家がいるのかわからないし、SNSで自分の見たい情報しか見ないため、若者がよく使うインターネットで選挙について分かりやすく発信すればいいと思う。
	・インターネット等が普及して知りたい情報はすぐ手に入るようになった反面、色んな情報の中から政治や政策に興味を持つに至っていないのではと思います。最近は動画コンテンツで短い動画の「流し見」などでテレビ離れも進んでいるのでそういうコンテンツを使用して(している政党もあると思います)短くキャッチーな内容で発信して行くのが良いのではと考えます。
	・今の時代、特に若年層の方達は自分の名刺や、日記のようにSNSを使います。私は投票に行く時、政治家さん達のSNSの有無を調べました。先述した通り、プロフィール、名刺になるSNSを「やっているかどうか」が、そもそも若年層に対する意識の違いだと考えたからです。 実際、SNSを頻繁に更新していらっしゃる政治家の方は若年層にとってはそれだけで親近感が湧きます。今の若い子達は街頭演説なんてほとんど聞かないと思います。正直、選挙カーは名前を叫んでいるだけのうるさい車という認識です。チラシも必要ありません。そもそも選挙がある事さえ知らない人もいます。 Twitter、Instagram等のSNSをもっと活用し、若年層の「目にとまる」ようにするのも投票に行く一つのきっかけになるのではないのでしょうか。
投票していない	・投票に行く前(1〜2週間前など)に、どんな人が立候補していて、どんな政策を行おうとしているのかわかるパンフレットの事前配布や、立候補者のプレゼン動画等をサイトにアップいただくなど、可視化していただきたい。立候補者の客観的なプロフィール(※過去の不祥事などもきちんと記載有)も掲載してほしい。webで調べても党ごとにばらばらで見にくい。このようなことから、投票会場に行っても結局投票したい人がわかっておらず、1番上に名前がある人やなんとなくで選んでしまうことがある。このようなことを繰り返しているうちに、下手に1票入れるより行かないほうがいいのでは、と思ってしまふ。

主権者教育の普及推進	
投票した	・若年層は、政治や宗教、経済といった社会への関心が低い。しかし、学校教育では、それらを教育として、取り扱うこと忌避している。まずは、「今を生きること」と「政治」の関わりを教育機関が積極的に教えることが重要だと考える。
	・高校や大学などで強制的に行かせる環境づくり。
	・インターネット上など投票所に行かなくても投票できる環境が1番だと思いますが、それが難しければ小さいうちから投票に親しみを持つように教育し、みんなが投票に行く認識を持たせる(当たり前にする)ことが大切だと思います。若者の投票率が低いことだけニュースにされると行かなくても自分だけじゃないと感じる人が多い気がします。
	・小学校の間から投票の重要性を学ぶこと。というか、若年時代を経た人が投票率高いんだったらいいと思う。また、なぜ若年時代を過ぎた人は投票したいと思ったかを若年層に伝えるべきかなと思う。早いうちに言っとかないといけないと思う。
	・学校や、親が投票することの大切さを子供たちに教えるべきだと思う。親が行かなければ子供も行かなくて良いのだと考えるだろうと思う。
	・家族や身近な人が選挙の大切さを子どもの頃から教えると良いと思う。
投票していない	・高校で選挙に行く事の必要性をとてども丁寧に説明してくださった先生がいました。その先生のおかげで、私のクラスでは選挙に行くのが当たり前、という空気が出来ていました。高校を卒業した今でも選挙へ行く事は当然だと思うし、行っていない同世代の人が居ることに驚きます。やはり、教育において丁寧に指導することが必要だと思います。
	・わかりやすく、正確な政治のコンテンツやメディアでもっとあからさまに目につくくらいやってたと思う。学生の頃から授業などで選挙に参加する意義について深く学ぶ機会があった方が、当事者意識を持てるかなと思う。
	・一番はやはり小さいころからの教育が大事だと考えます。選挙についてまず知ってもらい、自分達が有権者になった時に、必ず選挙に行こうと思えるような教育が必要だと考えます。小さいころから政治に対して自分の意見を持ち、それを反映させるために選挙に行くという意識を持ってもらえるような教育が必要だと思います。小さいころから政治に興味を持っていれば、いずれ有権者になった時に投票に行くと思います。またその子ども達も自分の親が投票に行っているから、自分達もいかなければ、となるのではないのでしょうか。
	・政治に対する興味・関心を持つことが出来るように、YouTubeに政治の仕組みについての動画をアップしたり、投票のシュミレーションアプリを開発し、その結果が国や地方自治体にどんな影響を及ぼすかをシュミレーションするなど、小さいころから政治に触れる機会を増やす環境づくりをする。

センキョ割・特典等	
投票した	・投票にいくと特典がある。
	・投票に行くことで自分達に何かしらのメリットがあるような環境。(極論投票行けばお金貰える等)
	・マイナンバーカードを所持している若者世代に対して、投票に行ったら500円(電子マネーまたは連携口座振込で)もらえるようにすれば自然と投票率上がるだろうし、マイナンバーカードの普及も進むと思う。マイナンバーで管理するから虚偽報告や多重申請もないだろうし利になんてはなはず。少子化で若年層の人口なんてたかが知れてるし、必要経費だと思う。自治体単位でなく、国がやるべき。無駄なことにお金使うくらいなら若者世代にばら撒いてください。
	・投票に行くと10万円もらえる、等の小手先やおためごかしではなくインパクトがきちんとあるメリットの提示。
	・クーポンなど景品がもらえる。
	・ベストな回答ではないと思いますが、全く行かない人に行ってもらい、単純に投票率を上げるとすれば、特典を渡すことが良いと思います。
投票していない	・投票したらギフト券やポイントがもらえるなど、確実に利益を得られるなら行くと思う。
	・ポイント貰えたりなどの 特典があると投票にいく方が増えると思います！
	・何かしら貰える、特典がある。(スタバのチケットやPayPay??円分など)
	・若年層限定で行った人にお得なクーポンをわたす。

不正なき政治・不信の払拭	
投票した	・北欧のように、税率が高くとも、その分しっかりと納税者である国民に還元され、恩恵を受けられ政治に確かな信頼を預けられる世の中になれば行くと思う。また、物価高の上昇に伴い日々の生活が苦しいので、国民から社会保険料等に税金上乘せして徴収するのではなく、まずは国会議員や地方議員の給料を減らし、その上で国民が納得行く政治、世の中にしていかないことには、弱年齢層はともかく経済に対する不安が大きいの、そこをしっかりと世の中にならないと、ありがたみも感じられず、不信感しかない今は、投票に行く人間は増えないと思う。もっと、本質的なところを見抜いた上で、政治をしてくれないと誠に困る。 ・税金の使い道を事細かくしっかり表し、政治家達の給料を国民が納得いく金額にして、政治家や政治に対しての不信感を払拭して欲しい。そして、各政党明確な政策を掲げて、インターネット投票をできるようにしてほしい。 ・朝や夕方のテレビニュースやネットニュースからの情報収集がメインとなります。不祥事や野党の揚げ足取りの様な質疑応答の場面が多く切り取られており、ネガティブな情報が多く、興味が持ちにくい。施策を分かり易く解説したり、揚げ足取りではなく、より良い政治になるように与野党が協力して議論している場面を多く流す事でポジティブな印象になり、政治にも興味がもてるのでは無いかと思います。
投票していない	・投票することでコンビニやカフェなどで使えるポイントなどが配布されればいいなと思います。また、テレビやネットで政治家のスクandalや汚職など悪い面ばかりを報道されると、どうせ投票したって意味がないように感じ投票意欲が失せます。選ばれた政治家が素晴らしい功績を残してもほとんどの国民は知りません。なので政治家の悪い面より良い面をもっと発信してもらえると投票に行きやすくなると思います。 ・同年代では政治に関して既にどうあがいても利益に働くことはほとんどないと感じています。それは政策が既に「未来への利益」がほぼ確約しない、或いは議席を獲得しやすく未来がない者に配慮した政策しか出さないことを少なからず感じ取っている。老人年配が投票率が多く偏っているのも一因している。更には個人を応援したいが所属している党に不信感を覚えている。何より住民の不満というものは国政に関わる大きなことなどではなく、近所に転がっているのが大半である。なので国を変える、新しい風を。などではなく、その地域の住民への理解が必要である。あそこに信号をつけてくれ、あそこの道を舗装してくれ。など暮らしに直結する不満を聞く姿勢や意見を集めやすいアイデアが必要になっていく。
政策の一覧表やまとめサイト	
投票した	・インターネット投票 誰が何に立候補しているか、政策などをまとめて見やすいサイトを作って欲しい。 ・候補者や政党の政策がもっと分かりやすく比較できれば誰に投票したいか考えやすいと思います。また、子育て支援や教育支援など、若い世代にとって未来への希望を持てる政策が重視される世の中なら積極的に政治参加しようと思います。 ・フォームからスマホで投票できるようにする。それぞれの党の政策などをわかりやすくまとめたものをネットなどで配布し、他の政党と比べられるようにする。
投票していない	・早急にインターネット投票をするべきであるし、各党のマニフェストもネットで一覧で分かりやすく見れるようにするべき。そこに割く時間を限りなく短くすることが投票率を上げることへの最短の解決策。 ・難しいとは思いますが、ネットでも一目でマニフェストの違いや党の違いが確認できることや、ネットで投票できるともっと投票したいなと思えると考えます。

期日前投票を含めた投票所のアクセス性改善	
投票した	・わざわざ投票所に足を運ぶ人が少ないため、コンビニや郵送等で簡単に投票できるような環境であると投票に行く人が増えると思う。
	・投票所を増やす。梅田や難波、天王寺など若者が多く集まる場所に投票所を作れば良いと思う。例、駅、ショッピングモールの一区画を選挙の時だけ借りる、等。
	・投票へ行くことで、何か地域クーポン等がもらえる。スーパーやコンビニ、百貨店、ショッピングモール等、買い物や遊びに行った場所で投票できる(休日は遊びに行く人が多いため、出かけ先にあれば投票できそう)。住民票の住所以外で投票できる(一人暮らしの時に、地元から住民票を移してなくて、投票場所が実家で遠かったことがある)。
	・商業施設等、わざわざ投票に行かなければならないという考えから「出かけたついでに投票できる」システムができれば少しは向上するのではないかなと思う。
投票していない	・ターミナル駅など、行きやすい場所に不在者投票できるようにする 投票済証を復活し、見せたら割引があるようにする。投票に行ったら抽選で電子マネー等景品が当たるようにする。

投票の義務化・罰則	
投票した	・罰金制度や給料に反映するとすれば投票に行くと思います。
	・強制にする、それまでしないと投票数は絶対に増えない。
	・オーストラリアのように投票しないと罰金が課されるようになれば投票に必ず行くと思いますし、投票が必要になれば自ずと政党や候補者について興味を持って調べるようになると思います。人は特典を貰って得するよりも、罰金など損する方が嫌いなので投票に行くと思います。
	・政治への意識のない人はちょっとした環境の変化では変わらないと思うので、逆に投票しない場合に何かしらの不利益を被るぐらいのダイナミックなことをしなければ、変わらないと思います。(投票しなかった人には住民税を増税するなど)
投票していない	・職場での投票の義務化。

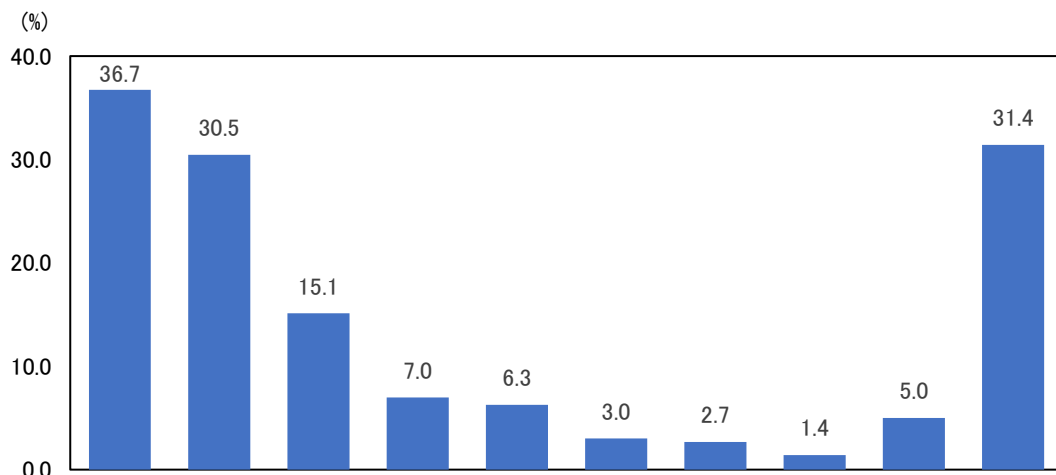
公約実行・反映	
投票した	・1票を投じた候補者が当選し、その候補者が約束通りキチンと政策を実行してくれ、又困った時など手軽に相談する事が出来る事など身近に感じる事が出来れば同世代などにはこだわらずこれからもずっと投票に行くと思います。
	・何か目に見えたり、自分たちの生活が良くなることに直結した政治や改革が選挙後すぐにわかるようになる(すぐに自分たちの生活に反映される)ともっと若年層が選挙に行くと考えます。
	・自分が選挙に行くことによって世の中が変わっている。政治に参加している事によって生活が豊かになっていると実感できるような環境になれば投票率も上がってくると思う。今の政治家はメディアもだが政策もあやふや報道も真実を隠し正しい情報を世間に伝えていないと感じますので、その点を今の若い世代は投票したくても結局投票したところでも変わらないだろうと感じるのではないのでしょうか。
投票していない	・公約を蔑ろにせずしっかり守る、実現する人達が居れば投票するだろうが、今まで蔑ろにしてきた事で、やる気がある人がいても全ての政治家を同じ目で見える事となっている 約束を守るという当たり前の事を積み重ねて政治家が信頼される様に、長い年月を掛ける必要があると自分は思う。
	・当選後、すぐに実現可能を約束する案を提示するのであれば自分たちへの得がわかり、投票する方が増えると思う。

一票の格差の改善	
投票した	・人口が多い世代が有利にならないように、人口の分布に合わせて票数の重みづけを調整する。 少子高齢化社会のため、若者の意見が反映されにくく、無力感を感じています。(∵投票率云々の以前にそもそも母数が少ないため) 上記の対応をすれば自分たちの意見が反映されると感じる人が増えると思います。
	・若者の声が反映される世の中であること。なかなか仕事を休めない若者もいるのでインターネットから投票できるようにする。若者の投票が高齢者含む上の世代の投票とイコールになるくらい付加価値をつける。
	・そもそも人口が多い高齢者と少ない若年層で比べないで欲しいし、行ったところで老人の為の政策しかない。それが改善されれば。
投票していない	・インターネットで投票が可能 年配者と若者での票の重みを考慮した採用（時間にも余裕があり人数も多い高齢者の投票数が多いと必然的に高齢者ファーストな政治が採用される確率が高くなり、政党でもそれを重視したマニフェストが掲げられやすくなる。若者の意見を取り入れたいのであれば年代別での投票数の差を考慮して若者の1票に重みを付けるべき。また、各政党もそれに合わせたマニフェストを掲げるべき）。
	・一票の格差と言われていますが、実際高齢者があまりにも多く、若者が投票したところで変わらないのだろう、という考えになってしまいます。(若者の少ない地方は特にそうだと思います。) 若者でも投票すれば、若者に寄り添った人が当選する前例などをアピールされれば、若者も投票する気持ちが出てくると思います。

若い世代の候補者	
投票した	・もっと若い候補者が多くなることが大切。また、自分たち若者世代が選挙で思うようになる成功体験が大切。私の1票で変わらないと思っている若者は多いと思う。もっと若い政界になればいい。
	・全世代もそうだが、子育て世代など今の自分の立場においてメリットがある政策を思案してくれるような若い世代の政治家の方がいい世の中になってくれたら行きたいと思います。
	・若い世代の議員を増やしてほしい。政治屋の議員ではなくもっと信念を持った議員が育つ環境を作ってほしい。
	・インターネット投票の推進、被選挙権年齢の引き下げで、今回の芦屋市長のように若い候補が増えることで関心が増す。
投票していない	・とりえず高齢の方が政治をしたところでこの日本は良い方向にいかないので、若い優秀な人間取り組んで組織構造から変革する必要がある。若い人間は高齢の方よりも身体的にも強く若さという唯一無二の武器があるため、今の政治よりも期待できるのではないかと思う。

7. 統一地方選挙において印象に残った選挙広告

(問9 4月9日に行われた統一地方選挙の期間にあなたが印象に残った広告を教えてください。(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。))



		回答者	区内を巡回している啓発自動車	区役所周辺に設置している看板広告	地下鉄車内広告、車内アナウンスや、駅等のデジタルサイネージ	I n s t a g r a m や	区役所等に設置してある懸垂幕広告	フルラッピングの小型電気自動車（デコレンタ）広告	バス停広告	映画館における映画上映前の広告	その他	どれも見ていない
全体		860人	36.7	30.5	15.1	7.0	6.3	3.0	2.7	1.4	5.0	31.4
性別	男性	377人	35.5	31.8	17.5	7.7	7.7	4.2	3.7	1.6	4.0	30.0
	女性	457人	38.5	30.0	13.3	6.6	5.0	2.2	2.0	1.3	5.9	31.3
	その他 （答えたくない）	26人	23.1	19.2	11.5	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	53.8
年齢別	18歳	47人	38.3	34.0	10.6	6.4	6.4	0.0	4.3	0.0	8.5	31.9
	19歳	45人	31.1	26.7	11.1	8.9	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	46.7
	20～24歳	265人	41.5	32.1	15.1	5.7	8.3	3.4	3.0	0.0	4.9	28.3
	25～29歳	503人	34.6	29.6	15.9	7.6	5.6	3.2	2.6	2.4	5.2	31.6
統一地方選挙	認知											
	投票											
	知っていた	775人	38.6	32.5	16.4	7.1	6.6	3.0	2.7	1.5	5.4	28.1
	知らなかった	85人	20.0	11.8	3.5	5.9	3.5	3.5	2.4	0.0	1.2	61.2
	投票した	498人	36.1	34.7	18.5	8.2	6.4	2.4	2.4	1.4	7.2	27.3
	投票しなかった	362人	37.6	24.6	10.5	5.2	6.1	3.9	3.0	1.4	1.9	37.0

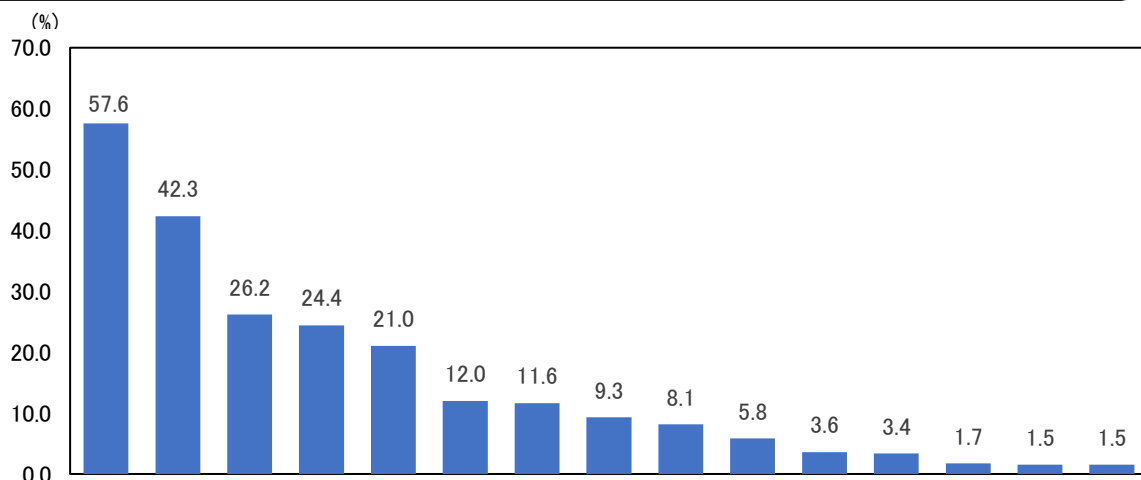
その他回答:「地域で配布される選挙チラシ」、「駅前でプレゼンをする議員」、「YouTube」

(注)数値は回答者数を100とした%

- ・統一地方選挙の期間に印象に残った広告をお聞きしたところ、「区内を巡回している啓発自動車」が36.7%と最も高くなった。次いで、「どれも見ていない」が31.4%となっている。
- ・フルラッピングの小型電気自動車（デコレンタ）広告、バス停広告、映画館における映画上映前の広告は認知度が低い。
- ・区内を巡回している啓発自動車や車内アナウンスなど、音の出る啓発は一定印象に残ることがわかる。
- ・「4月9日に統一地方選挙が行われたことを知らなかった」人においては、「どれも見ていない」が6割と多いが、「4月9日に統一地方選挙が行われたことを知らなかったが、何かの広告を見たことがある」人の中で最も高かったのは「区内を巡回している啓発自動車」である。
- ・「投票した人」において、「統一地方選挙の期間に印象に残った広告」として高くなっているものは、全体の傾向と変わらず「区内を巡回している啓発自動車」「区役所周辺に設置している看板広告」である。

8. 若年層が普段よく見る広告媒体(選挙以外)

(問10 選挙以外であなたが普段よく目にしたり、印象に残る広告や媒体を教えてください。
(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。))



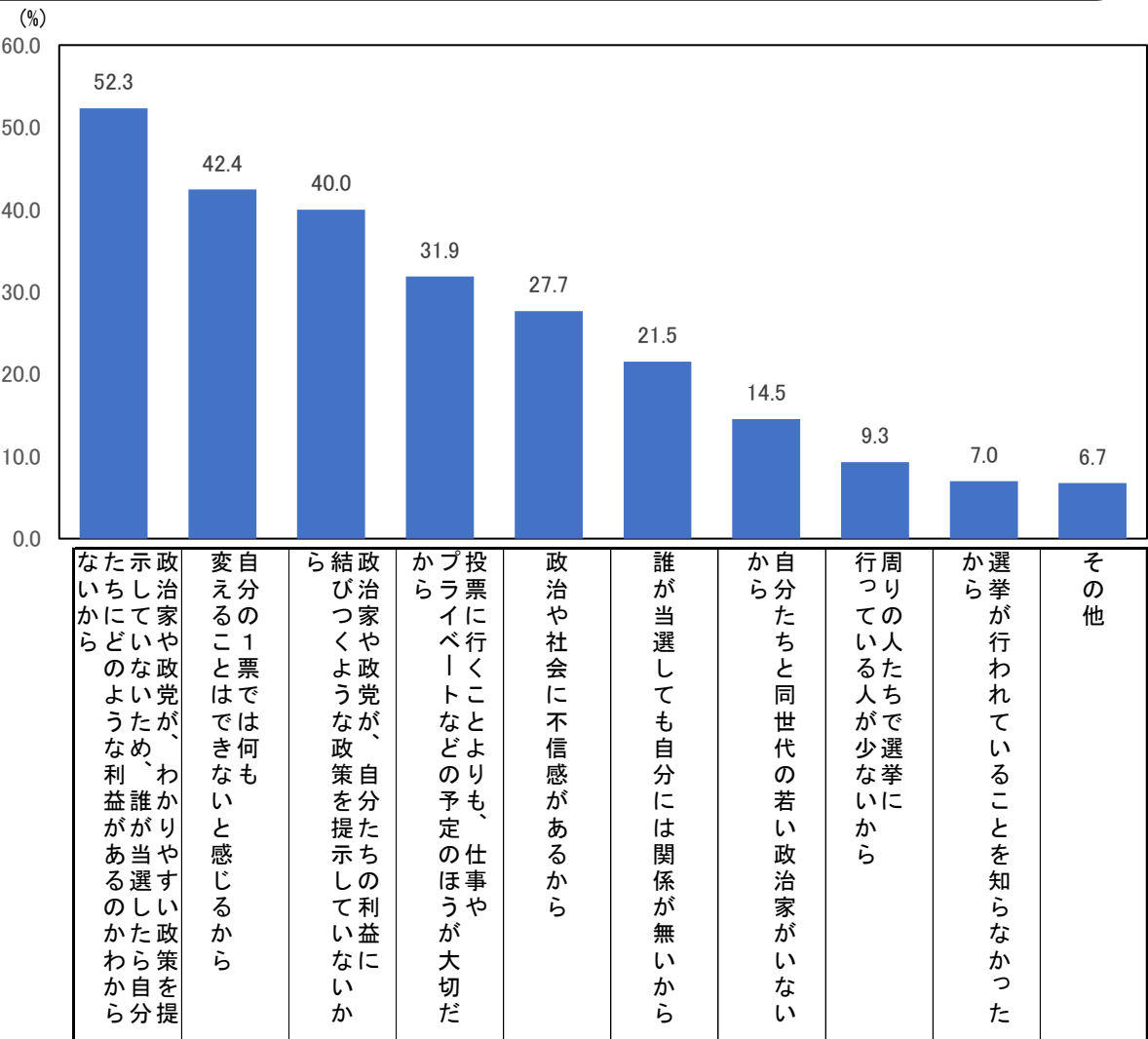
回答者		SNSやYouTube等の広告	インターネットニュース	テレビCM	電車やバス等の車内広告	TV ニュース	駅等にあるデジタルサイネージ	区役所周辺に設置している看板広告	ポスター広告	商業施設等に掲出してある	新聞広告や折込チラシ	街中で配布されるビラやポケットティッシュ等	映画館における映画上映前の広告	大型トラック広告	区役所等に設置してある懸垂幕広告	バス停広告	その他
全体		860人	57.6	42.3	26.2	24.4	21.0	12.0	11.6	9.3	8.1	5.8	3.6	3.4	1.7	1.5	1.5
性別	男性	377人	55.4	46.2	22.8	25.7	21.0	13.5	11.4	7.7	8.2	5.6	2.9	2.1	1.6	2.1	1.6
	女性	457人	60.2	40.0	28.7	23.0	21.4	10.3	11.8	9.6	7.7	6.3	4.2	4.6	2.0	0.9	1.5
	その他 (答えたくない)	26人	42.3	26.9	30.8	30.8	15.4	19.2	11.5	26.9	15.4	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0
年齢別	18歳	47人	59.6	31.9	31.9	19.1	12.8	10.6	10.6	8.5	4.3	2.1	4.3	4.3	8.5	0.0	4.3
	19歳	45人	55.6	31.1	20.0	17.8	35.6	11.1	13.3	11.1	6.7	13.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～24歳	265人	51.3	35.1	26.0	23.8	24.5	11.7	13.6	9.8	12.8	7.2	5.3	2.3	1.9	3.4	1.5
	25～29歳	503人	60.8	48.1	26.2	25.8	18.7	12.3	10.5	8.9	6.2	4.8	2.8	4.2	1.2	0.8	1.4
統一地方選挙	認知																
	知っていた	775人	57.5	43.7	25.7	25.3	20.8	12.5	11.1	9.7	8.3	5.9	3.5	3.6	1.7	1.3	1.5
	知らなかった	85人	57.6	29.4	30.6	16.5	23.5	7.1	16.5	5.9	7.1	4.7	4.7	1.2	2.4	3.5	1.2
	投票																
	投票した	498人	59.2	43.2	24.7	27.3	21.1	12.0	11.0	9.2	9.6	6.6	4.0	3.8	1.8	0.6	1.8
	投票しなかった	362人	55.2	41.2	28.2	20.4	21.0	11.9	12.4	9.4	6.1	4.7	3.0	2.8	1.7	2.8	1.1

その他回答:「ない」、「一般人による画像解説」

- ・選挙以外で普段よく目にしたり、印象に残る広告や媒体をお聞きしたところ、「SNSやYouTube等の広告」が57.6%と最も高くなった。次いで、「インターネットニュース」が42.3%となっている。
- ・「4月9日に統一地方選挙が行われたことを知らなかった」人においては、「知っている」人と同様に「SNS や YouTube 等の広告」が6割と最も高い。次に高いものは「テレビCM」「インターネットニュース」がともに約3割である。
- ・「投票しなかった」人において、普段よく目にしたり、印象に残る広告や媒体は、全体の傾向と変わらず「SNS や YouTube 等の広告」「インターネットニュース」である。

9. 若者が投票に行かない理由

(問1 今回アンケートの対象となっている皆様の世代の投票率は、ほかの世代に比べて全国的に非常に低くなっています。(令和4年の参議院選挙では全国平均が52%、10代・20代は約35%)若者が投票に行かない理由は何だと考えられますか？(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。))



全体		860人	52.3	42.4	40.0	31.9	27.7	21.5	14.5	9.3	7.0	6.7
性別	男性	377人	46.7	44.6	41.9	33.4	30.5	24.4	13.8	8.2	8.8	6.6
	女性	457人	58.2	40.3	38.9	31.3	25.2	18.6	15.3	10.3	5.7	6.1
	その他(答えたくない)	26人	30.8	50.0	30.8	19.2	30.8	30.8	11.5	7.7	3.8	19.2
年齢別	18歳	47人	51.1	36.2	36.2	31.9	25.5	12.8	17.0	12.8	12.8	6.4
	19歳	45人	64.4	48.9	42.2	28.9	22.2	22.2	11.1	11.1	6.7	6.7
	20～24歳	265人	50.9	42.6	34.7	30.2	29.1	21.9	13.6	9.4	7.5	7.5
	25～29歳	503人	52.1	42.3	42.9	33.0	27.6	22.1	15.1	8.7	6.2	6.4
投票	投票した	498人	54.2	46.0	40.6	31.1	27.7	26.3	15.5	10.0	8.2	5.8
	投票しなかった	362人	49.7	37.6	39.2	32.9	27.6	14.9	13.3	8.3	5.2	8.0

その他回答:「行くのが面倒」、「政治に興味がない」「投票に行ったことで得られる利益がないから」、「普段から自分の選挙区の政治家のことを知らないから」

(注)数値は回答者数を100とした%

- ・若者が投票に行かない理由は何かをお聞きしたところ、「政治家や政党が、わかりやすい政策を提示していないため、誰が当選したら自分たちにどのような利益があるのかわからないから」が52.3%と最も高くなった。次いで、「自分の1票では何も変えることはできないと感じるから」が42.4%となっている。
- ・「政治家や政党が、わかりやすい政策を提示していないため、誰が当選したら自分たちにどのような利益があるのかわからないから」については、19歳における割合が最も大きい。また、18歳とは1年違いであるが、10%以上の差があらわれている。
- ・「自分の1票では何も変えることはできないと感じるから」については、18歳における割合が最も小さい。
- ・「投票した人」と「投票しなかった人」で、投票に行かない上位の理由は全体と変とわらない。

<付属資料>

【圧着葉書(内部)】

POST CARD

統一地方選挙に関するアンケートに、 ご回答をお願いします。

今回のアンケートは、大阪市内にお住まいの18歳～29歳の方から無作為に5,000名の方を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、特定の個人が識別できない形で集計いたします。

なお、この調査は大阪市のマーケティング・コミュニケーションズに業務を委託して実施しています。



大阪市選挙管理委員会 選挙マスコット
センキョン

回答方法について

アンケートサイトより、インターネットでのご回答をお願い致します。
(パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれでも回答可能)

アンケートURL
<https://marketing.post-survey.com/senkyo23/>



回答の際、下記のログインIDとパスワードを入力してください。

ログインID

XXXXXXXX

パスワード

XXXXXXXX

令和5年5月31日(水)まで
にご回答お願い申し上げます。

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

■調査内容について 大阪市行政委員会事務局選挙課
電話:06-6208-8511

■回答方法について 街マーケティング・コミュニケーションズ
電話:06-6245-6980

【圧着葉書(外部)】

大阪南局

料金別納
郵便

令和5年5月31日(水)
までにアンケートに
ご回答をお願いします



大阪市選挙管理委員会 選挙マスコット
センキョン

大阪市選挙管理委員会から統一地方選挙に関する アンケート(全10問)へのご協力のお願い

この調査は、大阪市内在住の若年層有権者の投票行動等に関する状況を把握することを目的に実施いたしております。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、アンケートの目的及び趣旨をご理解いただき、**令和5年5月31日(水)**までに、インターネットでのご回答をお願い申し上げます。パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれでも回答できます。

(アンケートサイトやログインID等は、中面をご覧ください)



 **ここから開けてください**

大阪市行政委員会事務局選挙課
〒530-8201
大阪市北区中之島1丁目3番20号
電話:06-6208-8511

【差出人/還付先】
事業受託者:株式会社マーケティング・コミュニケーションズ
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-3-4
電話:06-6245-6980

【圧着葉書(外部・督促)】

大阪南局

料金別納
郵便

令和5年5月31日(水)
までにアンケートに
ご回答をお願いします



大阪市選挙管理委員会 選挙マスコット
センキョン

大阪市選挙管理委員会から統一地方選挙に関する アンケート(全10問)へのご協力をお願い

先般お送りいたしましたお葉書は届いておりますでしょうか。この調査は、大阪市内在住の若年層有権者の投票行動等に関する状況を把握することを目的に実施いたしております。

ご回答をいただいていない場合は、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、**令和5年5月31日(水)**までに、インターネットでのご回答をお願い申し上げます。パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれでも回答できます。既にご回答いただいておりますら、行き違いになりましたことをお許しください。

(アンケートサイトやログインID等は、中面をご覧ください)



 **ここから開けてください**

大阪市行政委員会事務局選挙課
〒530-8201
大阪市北区中之島1丁目3番20号
電話:06-6208-8511

【差出人/選付先】
事業受託者:株式会社マーケティング・コミュニケーションズ
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-3-4
電話:06-6245-6980

【設問内容】

質問1 今回アンケートの対象となっている皆様の世代の投票率は、ほかの世代に比べて全国的に非常に低くなっています。(令和4年の参議院選挙では全国平均が52%、10代・20代は約35%)

若者が投票に行かない理由は何だと考えられますか？

(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。)

1. 政治家や政党が、わかりやすい政策を提示していないため、誰が当選したら自分たちにどのような利益があるのかわからないから
2. 政治家や政党が、自分たちの利益に結びつくような政策を提示していないから
3. 投票に行くことよりも、仕事やプライベートなどの予定のほうが大切だから
4. 選挙が行われていることを知らなかったから
5. 自分の1票では何も変えることはできないと感じるから
6. 政治や社会に不信感があるから
7. 周りの人たちで選挙に行っている人が少ないから
8. 誰が当選しても自分には関係が無いから
9. 自分たちと同世代の若い政治家がいないから
10. その他(具体的に:)

質問2 あなたの性別をお答えください。

1. 男
2. 女
3. その他(答えたくない)

質問3 あなたの年齢をお答えください。

1. 18歳
2. 19歳
3. 20～24歳
4. 25～29歳

質問4 あなたは、4月9日に統一地方選挙が行われたことを知っていましたか？

1. 知っていた
2. 知らなかった

質問5 あなたは、4月9日に行われた統一地方選挙で、投票されましたか？

1. 投票した (質問7へお進みください)
2. 投票しなかった (質問6へお進みください)

質問6 質問5において「投票しなかった」を選択された方へ伺います。

統一地方選挙に投票されなかったのは、なぜですか。

(当てはまる選択肢を3つまで選択してください。)

1. 選挙が4月9日に行われていることを知らなかったから
2. 優先すべき仕事や用事があったから(忙しかったから)
3. 病気だったから

- 8. 区内を巡回している啓発自動車
- 9. その他（具体的に： ）
- 10. どれも見ていない

質問 10 選挙以外であなたが普段よく目にしたり、印象に残る広告や媒体を教えてください。
（当てはまる選択肢を 3 つまで選択してください。）

- 1. SNS や YouTube 等の広告
- 2. 駅等にあるデジタルサイネージ
- 3. テレビ CM
- 4. 映画館における映画上映前の広告
- 5. バス停広告
- 6. 大型トラック広告
- 7. 電車やバス等の車内広告
- 8. 区役所周辺に設置している看板広告
- 9. 区役所等に設置してある懸垂幕広告
- 10. 商業施設等に掲出してあるポスター広告
- 11. 新聞広告や折込チラシ
- 12. 街中で配布されるビラやポケットティッシュ等
- 13. TV ニュース
- 14. インターネットニュース
- 15. その他（具体的に： ）